

事業概要

大型コンテナ導入による離島物流の省人化・輸送効率化事業

協議会名: 佐渡島輸送効率化協議会

協議会構成員
 佐渡汽船株式会社
 佐渡汽船運輸株式会社
 佐渡農業協同組合(参画依頼中)

【事業実施背景】佐渡島と新潟本土を結ぶ物流は地理的特性から海上輸送に依存しており、現行はトラックの有人乗船方式および2トンコンテナを主とした貨物輸送も行われているが、いずれも輸送効率や省人化の面で課題がある。その結果、ドライバー不足やコスト増加、環境負荷の問題が生じている。さらに、佐渡島の人口減少・高齢化の進行により、島内物流の持続性確保も重要な課題となっている。

事業内容

Point 本事業では、佐渡島と新潟本土間の物流における省人化と輸送効率の向上を目的として、新造貨物船の導入にあわせ輸送用コンテナの大型化を実施する。これにより、トラックの有人乗船に依存しない輸送体制へ転換し、積載効率の向上、荷役時間の短縮、コスト低減化を図る。さらに、輸送回数の最適化により二酸化炭素排出量を削減し持続可能な離島物流の確立に寄与する。

□【事業実施前】 (佐渡島)
 (各貨物事業者) ⇔ 【新潟港】～(海上輸送:64km)～【両津港】⇔ 佐渡島内事業者
 【トラック輸送・小型コンテナ】



□【事業実施後】 (佐渡島)
 (各貨物事業者) ⇔ 【新潟港】～(海上輸送:64km)～【両津港】⇔ 佐渡島内事業者
 (海上輸送) 【モーダルシフト・輸送コンテナの大型化】



■輸送効率化により離島の輸送問題解消
 を目指し、地域振興を目指す。

想定事業実施効果

- 【輸送効率化効果】
 有人トラック輸送→コンテナ輸送による省人化
 【トラック運行回数】(現行)1,300回→(本事業)520回
- トラック輸送量の削減
 (事業前)512千トンキロ
 (事業後)435千トンキロ 削減量:77千トンキロ
- 【省人化効果】(ドライバー運転時間・港湾荷役作業員)
 【現行】2,600時間(トラック輸送)
 【本事業】520時間(コンテナ輸送)
 省人化:削減時間:2,080時間/年
- 【荷役作業時間の削減・二酸化炭素排出削減効果】
 本事業では、雑貨輸送をトラック主体からコンテナ主体へ転換することで、荷役作業の発生回数そのものが減少。1回あたりの作業時間も短縮され、荷役作業時間は全体で約40～50%程度削減されると見込まれる。
- 農産物の輸送効率化と輸送力確保と共同配送の輸送。
- 本事業により、離島航路の確保維持に繋げる。